

贈呈理由：工場環境・安全・省エネルギーに配慮した最新蓄熱式空調システムを導入

潜熱蓄熱式空調システムにリニューアル



NTN 岡山製作所

イントなど国内外の自動車産業を支える重要部品を製造している。今回は、24時間操業の等速ジョイント工場のシステムを灯油焚吸収式冷温水機から水和物スラリーを使った潜熱蓄熱式空調システムに更新した。このリニューアルにより、年間1,000t規模のCO₂排出量削減が期待されている。

なお、この方式の蓄熱式空調を工場空調として採用したのは本件が国内外で初めてであり、「平成20年度先導的負荷平準化機器導入普及モデル事業」（経済産業省）にも採択されている。

1918年創業のNTN株式会社は、自動車、鉄道車両、航空機、風力発電機および各種産業機械用のベアリングなど、精密部品の開発・生産・販売メーカーとして、世界24カ国、162拠点に展開するグローバル企業である。

NTNグループでは、「2010年度のCO₂排出総量を07年度比10%削減」に取り組んでおり、NTNの主力生産拠点である岡山製作所の空調リニューアルでも、この方針が貫かれた。

同製作所は、ベアリング、等速ジョ

DATA

NTN 岡山製作所

- ・所在地：岡山県備前市島田500-1
- ・蓄熱設備設計：JFE エンジニアリング (株)
- ・蓄熱設備施工：JFE エンジニアリング (株)
- ・延床面積：10,000 m² ・竣工：2009年 (更新)

■蓄熱設備概要

潜熱蓄熱式空調システム 熱源機：ターボ冷凍機
 1,125kW × 1基 [ダイキンアプライドシステムズ]、水冷
 スクリューモジュールチラー 281kW × 1基 [神戸製鋼所]、
 蓄熱槽：30m² × 6基 (ダイナミック)